

THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

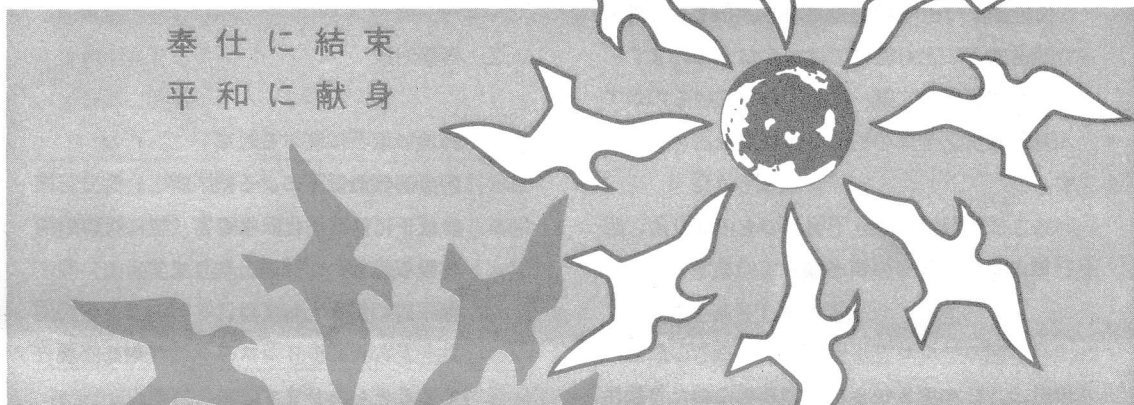
ROTARIANS

UNITED IN SERVICE—DEDICATED TO PEACE

CHARLES C.KELLER

ロータリアン——

奉仕に結束
平和に献身



認証状伝達式準備完了月間



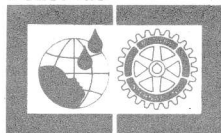
1988. 5. 20. (金) 第29回例会

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング (手に手つないで)
3. 食 事
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 各委員長報告
7. 会員卓話
8. 点 鐘

● 次回卓話予定者

PolioPlus



佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日 (12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務所 〒880-03 佐土原町大字下田島9883番地1

会 長	山 脇	忍
副 会 長	江 藤	康 雄
幹 事	岩 切	正 司
会 計	佐 野	保
会報委員長	垂 水	敏 雄

第28回例会記録(昭63・5・13)

会長挨拶 山脇 忍

皆さん、こんにちは。本日は第28回例会でございます。

前回慢性肝炎についてお話ししましたので、今回は慢性膵炎について申し上げます。

〔慢性膵炎〕

慢性膵炎は近年増加しており、私どもの外来で遭遇することも希れではなくなっています。

その成因として第一にあげられているのがアルコールで、全体の約60%程度を占めています。

第二に特発性(原因不明)のもの30%、胆石によるもの8%の順となっています。

わが国のアルコール性慢性膵炎患者の飲酒の状況は、日本酒3~5合を20年にわたり飲用しているものが多いとされています。

しかし、アルコールに対する耐性は個人差が大きいので、必ずしも量だけで判断することは困難なようです。

またしばしば経験することですが、飲酒量について申し出るのが実際より少ない場合が多いことです。

初発症状として最も多いのは腹痛で、70%程度にみられます。

部位は、心か部または左右季肋部、性状は比較的持続性で、背部へ放散し易く、仰臥位で痛みは増強し、座位で軽減して、アルコールや脂肪摂取により増悪し易いのが特徴であります。

この他に、背部痛、食欲不振、倦怠感などがあります。

次に、治療について要点を申します。

1. 原因対策

慢性膵炎の成人の多くは、特に男性の大部分は、アルコールが関係しています。

従って、禁酒が治療の大前提となります。

次に食事療法で、脂肪の制限(30g/日以下)が中心となりますが、その程度は病態により多少異なっています。

2. 疼痛対策

3. 膵機能低下に関する対策

内分泌機能低下による糖尿病と、外分泌機能低下に伴う消化吸収障害(特に脂肪の消化吸収障害)が問題となります。

糖尿病の治療としては、インスリンの絶対的欠乏のため、インスリンの注射を必要とすることもあります。

外分泌機能の低下には消化酵素の投与が必要であり、これにより痛みも軽減されることが多い。

いずれにしても、アルコール飲用と関係の深い病気でありますので、飲酒者は常に十分心得ておくことが肝要かと思えます。



幹事報告

齊藤数馬

宮崎北RCから、例会の変更通知が次のよう
に来ております。

○5月18日(水)朝 7:30より

場所は、宮崎神宮「友愛の広場」

認 証 状 伝 達 式 準 備 関 係

登録申込数 昭63・5・18現在

宮崎北 RC	66
日 南 RC	3
日向東 RC	5
都 城 RC	5
都城北 RC	3
都城中央RC	4
鹿 屋 RC	3
鹿屋西 RC	1
志布志 RC	1
日南中央RC	6
えびの RC	2
計	99

式典及びレセプションのシナリオの検討がほぼ終り、5月23日(月)19:00から事務局(広瀬共栄幼稚園)で、第1回リハーサルに向っての実行委員会が開かれます。

これからの会合には全会員が必ず出席していただくようにお願いします。

第1回リハーサルは、5月25日の予定です。



伝達式にお見えの町外RCの方々から質問でも出たときの参考資料として、今回は余白がありましたので、一筆失礼させていただきます。

記

人口 (昭63・5・1現在)
30,182 (男14,441人)
(女15,741人)

世帯数
8,897世帯(昭63・5・1現在)

面積
56.94 Km²

就業人口の割合
第1次産業(農業等) 15%
第2次産業(製造、建設業等) 29%

第3次産業(卸・小売、金融、運輸通信、電気ガス、サービス業、公務等) 56%

佐土原町の沿革

佐土原町は、伊東氏、島津氏の城下町として約540年間栄えてきました。

昭和30年4月1日に佐土原町と那珂村が合併して佐土原町になり、さらに昭和33年4月1日、佐土原町と広瀬町が合併して新佐土原町が誕生しました。

主な文化財・史蹟等

○ 木造騎獅文殊菩薩及び脇待付天蓋一面
貞和4年8月(1348)運慶五代の孫法眼康俊の作。 総檜寄木造り。
(大光寺蔵)

○ 巨田神社本殿
天長8年(831)の鎮座と伝えられ、菅田別尊(応神天皇)及び住吉四社の神を奉祀してある。
本殿は「三間社流造り」で、室町時代の神社建築様式をそのまま残している県下唯一の社殿である。
(巨田地区)

○ 乾峯土曇墨蹟六種
建式4年(1337)京都東福寺17世となった名僧で、当時わが国屈指の書家でもあった乾峯土曇が、愛弟子の大光寺開山獄翁長甫へ送った書状6通ほか5種の古文書が保存されている。
(大光寺蔵)

○ 木造地藏菩薩半跏像
総檜寄木造りで、法眼康俊かその弟子の作といわれている。
(大光寺蔵)

○ 僧日講遺跡
日講は日蓮宗不受不施派の講門派の始祖。幕府の宗教弾圧により佐土原へ流されたが、藩主島津忠高の知遇を受け、藩士、僧侶等へ学問を教えた。
元禄11年3月11日野久尾の配所で寂す。
(西野久尾地区)

○ 古月禪師分骨塔

古月は佐土原町佐賀利に生れ、大光寺の42世の高僧。

今も佐土原に伝わる有名な盆踊り唄「いろは口説」は、禪師が庶民へ人生訓をわかりやすく説いたものである。

大光寺境内に分骨塔がある。

○ 佐土原城址

鎌倉時代の初期伊東氏の創築といわれているが、天文6年(1537)出火により炎上し、天文11年(1542)頃に再築された。天正5年(1577)に伊東義祐一族が豊後落ちをした後は島津氏がこれを領した。

明治3年広瀬転城に際しことごとく城をこわし、今は昔を偶ぶよすがもない。

また、広瀬城も、着工後1年余で建設中止となり、「まぼろしの城」と呼ばれている。町では、合併30周年を期に、旧佐土原城址周辺の整備を計画している。

○ 久峰観音

敏達天皇の頃(583)新羅国の高僧日羅上人の開基と伝えられ、安産の観音として有名である。

○ 鬼子母神

佐土原町吉祥寺兆域に祭られている。

子授け・安産・育児の神として信仰者が多く、旧暦1月27日～29日の例祭には県内外からの参詣人の列が絶えない。

伝統民芸品等

○ 佐土原人形

佐土原で200年ぐらい前から製作されてきたといわれる土人形である。

前面だけの彩色で、おおらかな作風である。代表的作品の「まんじゅう喰い」は、子供に向かって「お父さんとお母さんはどちらが好きか」と問うたのに対して、即座に、手にした饅頭を二つに割りながら、「この饅頭はどちらがおいしいか」と反問したという偶話にヒントを得て作られたものだと伝えられています。

○ くじらようかん

起源は150年以前といわれる。

鯨のように大きく力強い人間に育つようにとの念願から作られたといわれる。

その形が鯨に似ているところからくじらようかんの名がついたとの説もある。

出席報告

第28回例会 5月13日(金)

会員数	20名
ホーム欠席者数	14名
ホーム出席者数	6名
ホーム出席率	30.00%
メイクアップ者数	9名
修正出席者数	15名
修正出席率	75.00%

欠席者名 上田・郡司・立山・宮元・佐野

メイクアップ状況	日向 岩切・児玉	都城 鈴木・垂水
	小林中央 浜田・日高	都城中央 池田
	延岡中央 児玉・坂本	都城西 江藤

ビジター (敬称略)

宮崎北 齊藤芳春 特別代表補佐

西都 小牟田英心

“ 高橋十二